

くれない

Vol.44

2023年
4月25日 発行



撮影：73回生 渡辺華子さん



真実の宗教に育まれて

学校法人武蔵野大学 理事長
くれない会名誉会長

長野 了法

くれない会の皆さまには如何お過ごしでしょうか。

いよいよ明年に創立100周年を迎えます。

1924年に高楠順次郎博士により「仏教に基づく人格形成」を建学の理念として「武蔵野女子学院」が設置され、100年を経た現在、大学・中高・幼稚園等を設置する大規模学校法人へと発展しました。

その歴史の中でくれない会の母校は、設立当初の「武蔵野女子学院」から「武蔵野女子学院高等女子学校（1927年高等女子学校令）」へ、さらに「武蔵野女子学院高等学校・同中学校（1947年学制改革）」へ、そして現在の「武蔵野大学高等学校・同中学校（2019〜2020年男女共学化）」へと、本院のDNAを確実に引き継いできてくださっており、くれない会にとつての100周年の意義はひとしお大きいものがあるでしょう。

さて現在、一宗教団体の愚行が社会問題となつています。利己的な欲望を満たそうとする集団や、狂信的・妄信的ないわゆるカルトの集団まで、あらゆる雑多なものを一括して「宗教」と呼ぶところに問題がありますが、世の中が混沌とすれば、邪宗が生じるのが世の常です。そこで私達には、時代を超えた真実の教えと、そうでないものとの見極めが大切となり、その端的な見分け方について少しお話しさせていただきます。

まず、「救われる者」と「救われない者」とがあることを標榜する集団は本当の宗教ではないでしょう。真実の宗教は一切のものが救済の対象でなければ普遍性がありません。

また、救済の条件として世俗的なものを求めるものも邪です。例えば金品の上納の多寡で救われ方が異なるといった、人間の欲望の上に成り立たせる教えの先には、人間として不幸な世界しか待っていません。

おおよそこの2点で見極めがつかますが、実はつぎのことが大変に重要です。それは真実の宗教には「懺悔」と「歓喜」が伴うということです。

懺悔とは自らを謙虚に省みる心で、歓喜とは自らが救われることへの敬虔な喜びの心です。

カルトの教祖が共通して言う「自分は選ばれた存在であり、救われるのは当然である」という奢りの世界には、真実の宗教は存在しません。

本院が建学の精神とする仏教は、自己中心的（執着）になりがちな私にまづ気付きなさいと教えます。そこに「恥ずべし」と自らを省みる懺悔の心が生じ、同時にその私を必ず救うと誓ってくださる仏との出会いに「有り難し」との歓喜の心が生じます。

私達が共に真実の宗教に育てられていることを改めて喜びたいと思います。



武蔵野大学中学校・高等学校 校長
中村 好孝
くれない会顧問

100周年に向け、 更なる熱量アップを

皆様、平素より本校の教育に対し、多大なるご理解とご協力、応援をいただきありがとうございますこと、心より御礼申し上げます。本校の校長に就任して3年目となりました。引き続き、伝統ある本校の更なる発展に向け尽力してまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

【令和4年度を振り返って】

令和4年度は中学の新生1886名、高等学校の新生336名を受け入れ、全校生徒1536名でスタートをいたしました。長引く新型コロナウイルスの影響の中、少しでも学校全体の熱量を上げていくことを重要なテーマとして掲げ、新たにEX部という部署を立ち上げました。この部署は生徒や学校全体の熱量を上げることをミッションに、新たな企画や運営をしていく全国に類を見ない部署です。今年度スタートした企画としては、お互いを認め合い、ありがたの思いを形にしていけるCheersカードプロジェクト（2月初旬段階で4659枚が校内で飛び交っています）。普段の授

業とは全く違う体験ができる特別な体験習慣のEXウィーク（武蔵野大学教育学部の学生による実験教室などもありました）の開催。樹華祭にて、グラウンドに特設ステージを用意し後夜祭を開催。全校生徒にペンライトを配布し、大いに盛り上がりました（教員によるダンスの出し物などのサプライズ企画もありました）。

もちろん、熱量は学習面においても上昇しており、進路指導室を改装し、廊下に自習スペースを設けたことにより、空いている時間を見つけては勉強に取り組む姿も毎日見かけます。このような雰囲気は大学入試の結果にもつながっており、数多くの合格結果も届いております。また、探究活動の成果発表では外部からの賞をいただいたり、下校途中に人助けをした生徒に感動したご近所の方がお礼の手紙を持参されたり、別の場面では生徒の振る舞いに対する賞賛のお電話をいただいたりと、誇らしく感動する場面もいくつも目にしております。引き続き、熱量を上げる取り組みには力を入れていきます。

【2024年の100周年に向けて】

学校法人全体で、今、100周年に向けて様々な事業が計画され、その準備や取り組みが行われ始めました。それとは別に、中高独自のものとして非常に大きなプロジェクトが決定しておりますので、皆様にお知らせいたします。それは、次の2つの大型施設の建築です。

- (1) 校舎と第1体育館の間にある空き地部分に、地下に自転車庫を400台収容する駐輪場を完備したスポーツパークを作ります。



- (2) 旧東館跡地に南館と接続する形で、図書館機能を備えた4階建ての新しい学びの空間を作ります。



完成時期は、現段階では(1)が令和6年夏ごろ、(2)が令和7年春ごろの予定となっております。世界情勢による資材繰り等の影響で時期はずれ込む可能性もありますが、100周年を機に新たな教育施設を完備し、更なる教育環境の充実を図ってまいりますので、是非とも完成を楽しみにしておいてください（イメージ画は現段階での予定）。

くれない会の皆様のあたたかいご支援のおかげをもちまして、令和5年度入学者選抜における受験者数は、中高ともに増加しております。この勢いを今後も続けていきながら、100周年に向けて邁進するとともに、本年度は100周年をお祝いする準備の1年にしていきます。お近くにお越しの際は、どうぞお気軽に本校にお立ち寄りいただき、今の武蔵野の雰囲気を感じていただければと思います。

末筆ではございますが、くれない会の皆様の益々のご活躍を念じ申し上げます。



ご報告・御礼

くれない会会長
(高校26年生・昭50年生)
斧田 留美

くれない会の皆様にご挨拶申し上げます。

令和4年度委員会と総会がコロナ禍のため中止となり、委員会の書面審議において会長に選任され、前会長阿部美枝子先生の後を引き継ぎました。微力ではございますが最善を尽くせるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年度もくれない会行事はほとんど中止となり、本部事務局の整備を行いました。各業務のマニュアル作成と総会出席、個人情報の変更、「くれない」のバックナンバー閲覧等はQRコードを活用したデジタル化を順次進めています。

くれない会は令和5年3月、卒業生434名を新会員にお迎えしました(武蔵野女子学院96回生、新制武蔵野女子学院74回生、武蔵野大学高等学校4回生)。共学になり、初めての男女揃っての卒業式。組数も増え、紫・紅・緑・青・白・黄・藤・桜・菫・松・紺・蓮・楓の13組でした。女子271名、男子163名がそれぞれの夢、希望を胸に卒業されたことと思います。これからの未来がのびのびとした自由な世界でありますようお願い申し上げます。くれない会会員総数は2万4千957名となりました。

それでは、令和4年度くれない会のご報告をいたします。

一 令和4年度委員会(書面審議)
コロナ禍の為、委員会・総会の開催が3年連続で中止となり、委員600名に議案書をお送りし、書面審議いただきました。第一号議案 令和3年度決算報告

第二号議案 令和3年度くれない会基金決算報告

第三号議案 令和3年度会計監査報告
第四号議案 役員改選(案)について
第五号議案 令和4年度予算(案)

第一号〜第五号議案全て承認されました。

二 入会金と維持会費

くれない会は入会金と維持会費で運営されております。新入会員216名。維持会費納入者の総数は令和5年2月までに1668名(内訳はコンビニ1081名、ゆうちょ510名、ダイレクト61名、現金16名)納入いただきました。皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

三 御寄付御礼

くれない会では、会運営への御寄付と水代供養墓建立に伴う御寄付をお願いしております。会運営への御寄付はくれない会活動費へ、水代供養墓の御寄付はくれない会基金へ入金いたしました。温かいお心に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

四 武蔵野大学総合型選抜(同窓会推薦)

令和4年(令和5年度入学)は、武蔵野大学法学部法律学科に1名、工学部サステナビリティ学科に1名を推薦し合格しました。ご希望の方は下記要項をご確認の上、くれない会までお問合せください。

五 散華乙女追悼会

令和4年12月2日、ご遺族、同窓生にご参加いただき、しめやかに追悼会が執り行われました。くれない会の写真展、生徒と

同窓生の懇談会はコロナ禍のため中止となりました。

六 くれない会入会式

令和4年度高等学校卒業式に先立ち2月28日、入会式を行いました。卒業生434名に入会記念品御念珠袋をお贈りしました。

七 学校法人武蔵野大学永代供養墓

令和4年12月までに永代供養墓のお申込みをされた方は29名、内、くれない会での申込みは3名でした。令和4年9月30日に初めての納骨がありました。ご希望の方はくれない会までお問合せください。

八 学校法人武蔵野大学創立100周年記念事業について

武蔵野大学と西本願寺(親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要)との協賛行事(京都・西本願寺御影堂で開催)となるシンポジウムのリーフレット、編纂室制作の「百年史編纂だより」第3号を同封しましたのでご覧ください。

表紙について

平成29年 第一体育館竣工(建替え)
平成31年 松芝園グラウンド人工芝となる
令和3年度卒業の渡辺華子さん(73回生)が卒業後、キャンパスを訪れ撮った写真をくれない会に届けてくれました。松芝園グラウンドの桜はいつの時代も生徒たちを優しく見守ってくれています。

くれない会本部

顧問	阿部美枝子(16回生)
会計監査	高田 悦子(20回生)
事務局	市川 恭子(30回生)
会長	斧田 留美(26回生)
副会長	倉科 幸恵(30回生)
総務	渡辺 法子(32回生)
会計	尾澤のり子(35回生)

武蔵野大学総合型選抜(同窓会推薦)について

- くれない会会員の子、孫、兄弟姉妹、甥、姪の方が出願できます。
- くれない会会長からの推薦書が必要です。
- 面接と出願書類の総合評価で選抜します。

対象学部	基準となる学習成績の状況(評定平均値)
文	全体と国語
グローバル、法、人間科学(社会福祉)、教育	全体と英語(一部学科は英語外部検定資格が必要)
経済、経営、アントレプレナーシップ、データサイエンス、人間科学(人間科学)、工(建築デザイン)	全体と英語・数学
工(サステナビリティ)	全体と英語・数学・理科のいずれかひとつ
工(数理工)	全体と数学
薬	全体と英語・数学・理科
看護	全体と英語・国語・理科

※ 総合型選抜(同窓会推薦)についてのお問合せはくれない会事務局へ8月30日(水)までにご連絡ください。
※ 対象学部、基準および選抜方法は2022年度のもの(2023年4月入学者対象)であり、参考としてご覧ください。

武蔵野大学中学校・高等学校受験者の優遇措置について

本学を卒業された方々や、在学している生徒の四親等以内または本学幼稚園の卒園者本人、本学教職員の子女のうち、本中学校・高等学校を第一志望と考えている方は必ず「入試広報部」までご連絡ください。受験の優遇措置について具体的に説明させていただきます。また「入試広報部」では中学校・高等学校の受験一般について、ご相談を承っております。どうぞお気軽にご来室ください。

入試に関するお問い合わせ

入試広報部 ☎ 042-468-3377

先生お元気ですか？

「武蔵野女子学院のなつかしい日々」

元芸術科音楽教諭 八巻 利夫



1980年4月
より2022年3
月までの42年間、
武蔵野女子学院専
任教員として過ご
してきた日々は、

自分にとって大切な思い出の時であり、
学びの場であったと思います。

採用面接で当時の学院長「雲藤先生」の「生徒は、体は大人だが、心はこどもです。気を付けて生徒と接してください」という言葉は強く印象に残っています。

初めて担任を受け持った中1学年の水嶋先生、小泉先生、佐藤先生、望月先生には「教員としての心構え」や「生徒に対する思いやりの心」について学ばせていただき、それは現在も自分の人生観の基本となっています。

就職した当時は今では考えられないような大らかな時代で、あつという間に30年程が過ぎました。芝松園で桜のお花見、昼休みには小学生時代に戻ったようにグラウンドに出てキャッチボール。5時間目の授業は汗だくでハアハアいいながら授業をした思い出は昨日のように思い返されます。また、林間学校での「蓼科山登山」、臨海学校での「遠泳」、修学旅行での問題行動、文化祭、体育祭での「荒城の月」と「6色対抗リレー」、鼻をすすりながらのスキー教室、遠足、クラブ合宿等、パワフルに生徒と一緒に歩み楽しんだ日々は一生の宝物です。

その後は生徒減による様々な対応に苦慮しながらも教員同士チームワークをもって生徒との有意義な生活を送っていました。生徒減の波は予想以上に高く共学化へと大きく変化していきました。共学当初は男子生徒が校舎にいたということに戸惑いもありましたが、時を重ねることに戸惑いも薄れ、自然な感じで生徒と接することができるようになりました。

近年、生徒や職場の環境も変わり、昔のような大らかに「世代を超えた楽しみの共有」ということが薄れてきたように感じます。また、コロナ禍で生徒の活動が大幅に制限されたため、辛い学校生活を送らせたことに胸を痛めています。特に集団生活のイロハを行事等を通して学ぶ経験をしていないことを大変心配しています。早くコロナがおさまって通常生活を送ることができるよう願っております。

今は「わんこ（ドレミ）」中心の生活で、あつというまに1日が終わる生活を満喫しています。それと原田先生と大坂先生の3人で月1度のゴルフをすることがなにより楽しいと思っています。

最後に、妻・娘の2代と私にご縁があった武蔵野大学（武蔵野女子学院）にいずれ孫もご縁をいただき引き継いでいってくれたならありがたいと思っています。

「好きな書道を続けています」

元芸術科書道講師 高松25回生 大羅 恵子(矢部)



校名の変更と共
学化という大きな
変革をみて2021
年3月定年年齢に
達し40年間の教員
生活を終えました。

本校は、中学校から大学まで私の母校です。正確には52年間の長きに亘りお世話になりました。

半世紀にも及ぶ本校とのご縁の始まりは、9歳で書道を始めた私の学校選びにありました。幼心に女子校で書道が盛んな学校を受験したいと決めていたのですが、幸いにも本校がその条件にぴったりだったのです。中学生として1時間近くかかる通学時間は少し厳しいものがありました。武蔵野女子学院での学校生活は期待通りでした。入学後迷うことなく書道部に入学しました。当時の書道部は100名を超す部員を抱え、全国書道展において団体優秀賞を20数年連続で受賞するほどの実力校でした。第一講堂にあった書道室で、夏は楽山荘で先輩方の気迫あふれる練習ぶりに圧倒されながら書き続けました。今にしてこの中・高六年間での基礎力固めの大切な時間だったことを痛感します。大学卒業後、教員志望の私は板垣有展先生に本校勤務の道を開いていただきました。授業に対する心構え、準備の仕方などは書道科主任の高田文枝先生に多くを学びました。

授業は、思い起こせば忸怩たるものがあり赤面するばかりですが、明るく大らか、のんきな生徒たちがいつも窮地を救ってくれました。普段はのんびりムードの生徒たちもいざ練習となると

ものすごい勢いで書き続け、机間が反古紙でいっぱいになり足の踏み場がなくなるほどでした。我先に添削を競う行列ができ、授業は活気に満ち溢れていました。あの顔、この顔が懐かしく思い出されます。

さて今日の私ですが、現在は書道部のコーチとして週1回本校に通っています。また6年前から都内の女子校で書道の授業を受け持っています。本職の書道では、私の個展を数回見に来て、また書道をやりたいと言って集まった卒業生たちと月に2回書を楽しんでいます。家事や仕事を抱えながらも国立美術館に展示されるような作品を書くまでになった教え子の成長をみるのは何よりも嬉しいことです。

私自身も2021年第72回毎日書道展において長年の目標であったグランプリを受賞することができました。好きな書道も年齢的にいつまで続けられるかわかりませんが、これからも会津八一の「日々新面目あるべし」の言を肝に銘じて作品制作を続けていきたいと思っています。

生徒には社会に出て活躍して欲しいと願って、機会あるごとに何事にも一生懸命取り組むこと、そして在学中から将来に向けての準備を始めることを伝えてきました。この言葉が生徒の心にとどまっていってくれることを願っています。

最後になりましたが、在職中は多くの先生方に心温まるご助言、ご指導を賜りました。本紙面をお借りし、記してお礼申し上げます。皆様のご多幸と母校の益々の発展を祈念しております。

同窓生訪問



山本 節子
(三輪)
(高校33回生) 空輸員
全日本乗務員
客室乗務員

私が高校に入学したのは、1979年昭和54年。緑の多い広い敷地に広い校庭と校舎。中学までは公立でしたので、初の女子校。すぐに友達もでき、毎日が楽しい高校生活でした。高校在学中、親戚の家族がアメリカカロサンゼルスに住んでおり、夏休みに遊びに行く時に乗った国際線の飛行機。アメリカ大陸を上空から見た広大な景色に魅了されました。飛行機からの景色をこれからも見たいと言う想いで、高校新卒採用試験のため羽田にある会社に行きました。まだ高校3年生の秋でしたので、学校を休んで高校の制服を着てお化粧もせず。縁があつて内定をもらい、早41年。今までの飛行時間は凡そ、29,000時間になります。今年私は還暦。人生の半分以上をCAとしてフライトして参りました。大変なこともありました。人と接することが好きだったので、お客様としてクルーたちとも楽しく、無事にそして元気にフライトすることができました。国内線や国際線、いろいろなところに行く機会が与えられ、旅行好きな私にとつ

ては、ステイ先はとも楽しかったです。たくさんのお発見、感動や思い出があります。仕事で行く海外のステイ先で好きなところはパリ、ミュンヘン、ウィーンそしてハワイです。国内では食べ物美味しい北海道や福岡、そしてリゾート気分が味わえる沖縄です。海外もとても素晴らしい所は沢山あります。上空から見ると日本が一番好きです。上空から見る富士山、もちろん地上から見る富士山も素敵で何回見ても飽きません。春の新緑、夏の青い海、秋は紅葉で赤や黄色に染まってゆく山々、冬の流水や雪景色、夜はスキー場のナイターの明かりや輝く星、日の出や美しい夕焼けなど言葉では言い尽くせません。自然も多く四季があり、食べ物がおいしい日本は世界一すばらしいところだと思います。これが発行される頃には、41年のCA人生に幕を下ろそうとしている事と思います。今でも、高校時代の友人達と仲良くしてもらい、年に何度か旅行や食事を楽しんでいきます。そして孫とも一緒に旅行に行きます。還暦を迎えますが、私はこれからもチャンスややりたいたいことがあつたら、是非挑戦してみたいと思います。挑戦しなければ、失敗はありませんが、成功もありません。うまくいかないこともあります。決して無駄にはならず諦めもつきません。これからの第二の人生、楽しかった高校生活を時折思い出しながら元気でますます楽しんで行きたいと思っています。



新井 未来
(工藤)
(高校60回生) 職員
埼玉県入間市
保育士

中学・高校6年間を過ごした武蔵野女子学院での日々は、楽しいことも大変なこともありましたが、その全ての経験や出会った先生方・友人達は私の宝です。卒業してから数年経った今でも、連絡を取り合ったり、定期的に食事をしたりしています。職種も違えば、結婚や出産など、それぞれの立場も違う私たちですが、いつ会ってもあの頃と何も変わらず、くだらない話で涙を流すほど笑いあつたり、真面目な話で真剣に向き合える関係が大好きです。実は、コロナ禍で結婚式を泣く泣く延期し、契約から約2年越しの結婚式となった私ですが、その時にも、武蔵野女子学院で出会った先生方や友人達が支えてくれました。「なにがなんでも駆けつけるから!」などと、いつでも味方でいてくれる、たくさんの方からの言葉や、「延期は賢明だと思ふ。コロナはしつこそうだからね。5年もしたらいい思い出になるよ。困難を乗り越えた二人の絆は深くなる。:というか、もつと色んな困難があるから、その時に思い出して「私達は大丈夫」と思えるようになるよ!」などと励ましてくださった先生方からの言葉が、本当に嬉しく、心強かったのを

覚えています。

そんな大切な先生方や友人達と出会えたのも、両親のおかげだと感謝しています。当時、警察沙汰などもあり、少し荒れていた地元中学校に行きたくないと言う私に「少し勉強をすれば、他の中学校に行けるよ」と、中学受験の存在を教えてくださいました。その後、先生方や先輩方のイキイキとしていて楽しそうな雰囲気と一目惚れし、武蔵野女子学院が志望校となり、無事に合格。中学に入学してから高校を卒業するまでは、本当にあつという間、そして、あんなにいろいろなことに一生懸命に、夢中になれた6年間は後にも先にもありません。

武蔵野女子学院卒業後は、白百合女子大学児童文化学科発達心理学専攻へ進学し、埼玉県入間市の職員として働いています。保育士として、保育所でのクラス担任を5年、障害のあるお子さんとの療育活動を4年経験しました。昨年の4月に娘を出産し、現在は育児休業中です。初めての育児に奮闘しながら、すくすく成長していく娘の姿が嬉しくもあり、寂しくもあり:育児復帰までの貴重な日々を大切に過ごしていきたいと思います。

最後になりますが、くれない会の皆様のご健勝と益々のご発展をお祈り申し上げます。





有森 隆瑛

「勇者、求む。」
中学生の私

は、説明会でこの言葉を聞き「自分もこの学校で失敗をおそれず様々な挑戦をしてみたい！」と胸を高鳴らせました。

しかし、実際は想像からかけ離れたコロナ禍での高校生活でした。入学式は中止、クラスメイトと初めて話したのはZoomで、部活や行事は思うようにできませんでした。当時の私は、慣れることに精一杯で、時間だけが過ぎて

行きました。

そんな私に力をくれたのは、切磋琢磨できる仲間と常に全力で応援してくださる先生方が作る「熱く前向きな雰囲気」でした。そのおかげで私は課外活動など多くの挑戦をすることができました。そこでの経験があったからこそ今の自分の進路にたどり着くことができました。

最後に、私たちの高校3年間に関わってくくださった全ての方々に感謝し、今後もこの学校の素晴らしさが引き継がれていくことを祈っています。



坂口 葵

6年間通った
学校。何回も

歩いてきた並木道はいつも違う表情をしていました。季節が移り変わっていくように、私たちの学校生活もまた一日たりとも同じ日はありませんでした。高校共学一期生、コロナ禍で中止を余儀なくされた学校行事、オンライン授業、体育祭では新たなダンスの伝統の礎を築いたり、本当に激動の高校生活でした。たくさん笑って、時には怒られて、時には涙を流して。特に体育祭のダンスは「荒城の月」から一新してゼロから作る

ということ、ダンス係だけでなく皆不安に思ったことでしょう。私も扇子を使ったウェーブをしているときは本番まで扇子が壊れずにいるのだからかとドキドキしていました。本番では練習の時にあった音響トラブルが起らずに無事終えることができ、皆の気持ちの一つになった新たな伝統のスタートになったと感じています。私は沢山成長する機会をくれた大好きな学校に恩返しをしたいと思っています。そのため、大学で一生懸命勉強して力をつけ、今度は生徒ではなく教員としてこの学校に帰ってきたいです。それでは、また会う日まで。

高校72回生同窓会

高校72回生 森田 彩未

令和5年1月9日(月) ホテルエミシア東京立川にて、72回生58名が参加して「成人を祝う会(二十歳)」を開催しました。

在学中にお世話になった小磯先生、溝測先生、八巻先生、コプロス先生をお迎えし楽しいひと時を過ごしました。

コロナ禍の中、多くの方々のご協力で開催できたことを感謝申し上げます。



近畿支部 だより

支部長 高校16回生 藤尾 房江(浅見)

コロナ禍で皆様方とお目にかかる機会も無いままに過ぎてしまった3年間でしたがお変わりございませんでしょうか。

5月頃から順次コロナ以前の状態に戻るとの事ですので今秋には第55回の支部会を開催できたらと思っております。その節はご出席のご協力をよろしくお願い致します。

さて、最近のトピックスですが我が家から徒歩圏内にある四世紀頃のものと考えられる日本最大の円形古墳「富雄丸山古墳」からこの度今迄に例のない盾の形をした銅鏡と長さ267センチメートルの蛇行剣(タコウケン)が出土しました。

鏡は本来丸いものですが、盾形の裏面に丸い鏡が二面見事にデザインされています。一方、儀式用とみられる蛇行剣は全体が蛇のように曲がりくねった長大な鉄剣でこれ迄の出土品をはるかに超える国内最古で最大のものとされました。いずれも国宝級かと期待されるほどの精巧な造りで、木製の棺の蓋の上にそれを守るように置かれていました。

古墳に興味を持つ方には被葬者の謎と共に鏡や刀が大変な話題となり公開日には五千人を超える方が来訪され待ち時間は最長で90分という賑いでした。

待ちかねた旅行なども解禁となり春の訪れと共に、美しい日本が目覚めております。歴史的な名所と、おいしい食べ物がお待ちする関西へ、くれない会の皆様も是非お出かけくださいませ。

散華乙女追悼会

高校32回生 後藤 智子(西村)

心地よい冬晴れの12月2日、散華乙女の追悼会に初めて参列いたしました。

ご遺族の方・学校関係者・先輩卒業生の多くの皆さんが集まり、厳かな空気の中で追悼会が執り行われました。

お昼休みだったのでしようか、多くの学生達が楽しそうにお喋りをしながら近くを通ります。その姿と若くして短い命を失ってしまった女学生の姿が重なり、あの生徒達のように笑顔が溢れていた女学生が一瞬にして未来を奪われたと思うと胸が締め付けられました。

戦争という暴力で主張を通すことは愚かなことです。世界では未だ戦争が続いている国があります。一度、起こした戦争は形の上では終結をしても、大切なものをずっと静かに奪い続けていきます。私達はそれを忘れてはいけません。散華乙女の追悼会に参列して、その思いがさらに強くなりました。どうか世界の人々が笑顔でいられますように。



会員からのお便り

◆ 高女11回生 中島梅子(加藤)

101歳になりました。コロナの中、デイサービスはやめて自宅で過ごしております。

◆ 高女14回生 今野和子(平井出)

98歳になりました。デイサービスを受けて暮らしております。

◆ 高女21回生 高橋節子(宗像)

91歳になり施設で過ごしています。コロナ禍であり帰宅や面会も制限がありますが3回目ワクチンを接種して元気です。女学校や戦時中の楽しかった事、苦しかった事をよく話しています。卒業したこの学校をよく憶えており本当に良い学校だったと思っています。(ご子息より)

◆ 高女22回生 川島美子(高橋)

齢も90歳を過ぎ、老いを感じている毎日です。小金井は公園に恵まれており、自然が大好きですので散歩は欠かせません。木々の紅葉が始まり楽しんでおります。

◆ 高女22回生 小嶋好子(天野)

百年史編纂だよりを読ませていただき、本当に懐かしく昔を思い起こしました。鷹谷俊昭校長先生を拜ませてください。感謝無量でした。私も91歳になりました。念珠をもって礼讃抄を読んだことをしみじみと思ひ出します。お陰様で余生を趣味と好きな事をしてどうやら動いています。

◆ 高校4回生 伊川英子(隅屋)

「会員からのお便り」に載せていただいたおかげで何人かの同級生からお電話をいただきました。近況を知ることができて嬉しかったです。

◆ 高校11回生 鈴木恵子(竹内)

傘寿を迎えました。女孫も結婚し女四世代を待ち望んでおります。3B体操、マージャン教室、短歌も15年続けています。

◆ 高校12回生 岡田佑子

変わりなく元気に生活をしています。45年前頃から太極拳を始め、今も週3回体を動かしています。いつまで元気でいられるか！大事な犬と頑張っております。

◆ 高校12回生 松村都子(望月)

元気に暮らしています。

◆ 高校12回生 富澤嘉枝(二上)

私は今年4月19日で80歳を迎えました。いつの間にかこの様な高齢になりました。お陰様でまだどうにか自分の事は人の手を借りず、毎日を8歳年上の主人と共に生きています。

◆ 高校12回生 西岡方子(網野)

コロナの日々はつらいものがございます。何とか生きて居ります。

◆ 高校14回生 渡邊恵子(荒井)

すっかり様変わりした母校武蔵野大学高等学校に孫が入学致しました。孫が後輩になってくれた事は素直に嬉しいです。

◆ 高校15回生 室屋昌恵(大沼)

空手に夢中になり膝を痛めてしまい、杖をついたりして老後をゆつくり過ごしております。姉と毎日のように素敵な青春をおくれた事に感謝しております。今回、鷹谷先生のお写真を拝見できまして懐かしさでいっぱいです。「さよなら学長先生……」と今でも歌っています。ちなみに姉は13回生です。

◆ 高校15回生 櫻井陽子(天橋)

新制作協会という美術団体の会員になって22年。年1回新国立美術館での

発表と銀座での個展、グループ展と頑張っています。

◆ 高校15回生 高野道子

子供の頃から住んでおりました家の隣のマンションに移り、快適に暮らしております。

◆ 高校15回生 桃井聰子(倉田)

喜寿を迎えました。仕事、家のこと、子育て、孫育て、そして親の介護、いろいろありました。今は、長い間私の亡き両親とともに生活してくれた夫に感謝しながらの日々です。以前「くない」会報で懐かしいお名前を拝見しましたが、みなさんどうしていらっしやるかなと思っています。

◆ 高校17回生 北川恵(西川)

15年前、人生長生きする為の研究を始め、今年後期高齢者になりました。人生100年時代、イノベーションの道を探り、身体をリノベーション再生する道を見つけ生きています。昨年の夏に熱中症で救急車で運ばれましたが、点滴で回復し、先祖に守られた余生を感謝して生活しています。合掌

◆ 高校17回生 秋田香(後藤)

3年目に入ったコロナ禍、いまだ外出自粛の日常です。ロシアの権力者の欲望によりウクライナへの侵攻で、国土、民間人の悲惨な状況に心が痛み、早期停戦を祈り、世界の平和を願わずにはいられません。我が家のビッグニュースは、結婚16年目の次男夫婦に、9月ベビー妊娠の知らせを受け、無事の出産を心待ちにしている日々です。

◆ 高校18回生 栗原喜美子(殿木)

くない会設立90周年は素晴らしい同窓会で、卒業後初めて会に出席致しました。築地魚河岸の商いを終えた夫と散歩。近隣には築地本願寺、武蔵野大

学もあります。伸びやかに育てて下さった母校に感謝。皆様様の日々好日をお祈り申し上げます。

◆ 高校18回生 木村光子(松宮)

もう今年で74歳になります。まだまだ現役で頑張っています。会社の経理を担当して約50年。支払いの金額を間違えたら辞め時と思っています。認知症にならないのは仕事をして脳を使っているからなのかな?と安心しています。運動は愛犬とドッグダンスを楽しんでいます。

◆ 高校18回生 綾野裕子(横山)

日本舞踊家として令和6年に師籍55年を迎えます(花柳伊香衛)。弟子の稽古、そして私自身元気に踊っております。

◆ 高校18回生 田中室子

幼稚園教諭をしています。健康な限り頑張ります。

◆ 高校20回生 結城悠子(真田)

コロナも終息せず、ウクライナの状況にも胸が痛みます。年を重ね体に自信がなくなりました。

◆ 高校20回生 岡崎朝子(名取)

母校を最後に訪れたのは20年以上前になります。中学校から短大を卒業する迄の8年間、東伏見駅からワイワイとバスに乗っての通学は楽しい思い出です。授業よりもそのことが強く思い出に残っているのは何を見ても可笑しくしてしまうのがない楽しい時期だったからでしょうか。「笑い」は最大の免疫、これからの人生も楽しんでいこうと思っています。

◆ 高校21回生 齋藤幸子(下野)

古希を迎え、中一の宗教の時間で初めて「諸行無常」という言葉を聞いた時、一挙に目の前が開けたあの感激を思い出しています。

◆ 高校22回生 齋藤恭子(佐藤)

古希を迎えますが元気でゴルフに踊りに頑張っています。

◆ 高校23回生 池田幸子(関原)

マスク生活が日常になってしまいました。健康に留意しながら毎日を過ごしております。

◆ 高校23回生 永瀬文恵(青木)

母が亡くなったのを機に実家に戻ってまいりました。くれない会報を見ると、ここから通った事が鮮明に思い出されます。

◆ 高校23回生 松木博子(山中)

毎号の「くれない」を楽しみにしております。恩徳讀や真宗宗歌を日常本気で声に出し歌うのが何とも気持ちがいいです。切替わり、とても嬉しく幸せ気分になるひとときです。

◆ 高校25回生 加舎田美子(青木)

コロナ禍で外出もままなりません。2匹の犬の散歩で体力維持しております。

◆ 高校26回生 三浦直美(三浦)

毎日元気に過ごしております。高校時代の友人とランチして、おしゃべりすることが楽しみになっています。

◆ 高校27回生 中島恵子(吉田)

娘三人を武蔵野女子学院に通わせてくれた母が96歳に！元気で暮らしてくれている事がとても嬉しです。

◆ 高校29回生 小峰久美子(貞弘)

夫と二人で老後を楽しんでいます。双子の娘も幸せな家庭を築いています。孫も四人になり楽しい日々を過ごしています。

◆ 高校32回生 内野ひろみ(島田)

私は鬱病でほとんど家にいます。29歳から父母・親族・友人の介護をしてきたので、今はゆっくりとお休み中と割りきっています。義父母は施設に入居しているので、夫と二人暮らしでのんびりしています。

◆ 高校34回生 遠藤鶴子(青木)

3軒隣りに嫁ぎ、引越もしもなく、ずっと同じ地に暮らしています。今は主人とよく出掛け、孫に会いに行ったり、穏やかに過ごしております。武蔵野女子学院で過ごした8年間が基盤になつていようです。有難いです。

◆ 高校35回生 浜野恵子(長谷川)

ホッとしたい時、築地本願寺を訪れます。学校行事で伺った時のことを懐かしく思い出します。

◆ 高校36回生 成田加奈子(小川)

海外生活24年になり、息子たちは自立し、夫と犬と穏やかに暮らしています。

◆ 高校36回生 矢野誠子

ついに実家をたたく事を決意し、1年かけて片付けました。姉弟とよく話合せて「今だ!」というタイミングです。56歳にして独立した気持ちです。両親(父は亡き、母は施設)がいない家であっても、どこか二人がいるような、守られている安心感に抱かれて生きてきた私ですが、いよいよです。しっかり生きていきたいと思えます。

◆ 高校41回生 長岡祥子(佐藤)

お世話になった先生方が定年の時期を迎えられ、寂しさを感じております。

◆ 高校41回生 一杉睦美(千藤)

「先生お元気ですか?」のコーナーを楽しみにしております。

◆ 高校44回生 高坂真由子

43号ではダンディーで有名な体育の原田先生がいっぱいしました。私が仲良くしていた大橋枝実さんの全力で走る姿を見て「皆!大橋の走りを見てみるよ!」とおっしゃられ、あんなダンディーな先生に褒められた大橋さんが羨ましかったです。宗教の艸香先生のお写真も拝見できてよかったです。

◆ 高校46回生 矢澤百合(深山)

いつも会報楽しませていただいております。

◆ 高校47回生 青木澄和(北澤)

43号にはお世話になった山形香先生が載っておられ、退職されてしまったことを知り、残念で寂しく感じました。また同級生の活躍も知ることができました。

◆ 高校52回生 岩橋愛(高橋)

娘が中学生になりました。コロナの影響で卒業式も入学式も両親そろって参列はできませんでしたが、子ども達は制限がある生活の中でも逞しく前に進んでいます。高校の進路選択の際にはムサ女の文化祭に娘を連れて遊びに行きたいです。

◆ 高校52回生 末呂美奈子

零細企業ではありますが、代表取締役の職を継承して一年が経ちました。先行き不透明、複雑な世の中において、変えるべきもの、変えるべきでないものを見通すべく、眼力を養う修行の日々を過ごしております。

◆ 高校56回生 細田紗帆(山田)

元気です!

◆ 高校64回生 高橋運穂

4年目にして、ひとつ悟りました。「やっておける失敗は、早いうちにたくさんすること!」

ミスはしない方が良いです。でも失敗して、その時にどうするか。どんなやり方を考えて動けるか。日々修行、いえ修業です。

◆ 高校65回生 二瓶紀子

就職4年目。今は介護現場でリーダーとして働いています。

たくさんのお便り
ありがとうございます。

委員会のお知らせ

- 対象** 各学年委員
- 日時** 令和5年5月20日(土)
13時30分~14時30分
- 場所** 9号館2階会議室(紅雲台隣り)
- 議題** 活動報告・活動予定 決算報告 予算(案)
会則改正(案) 事務局時間給改定(案)
その他
※議案書は5月連休前に郵送します。

総会のお知らせ

- 対象** 全くれない会会員
- 日時** 令和5年6月3日(土)
13時30分~14時30分
- 場所** 9号館2階会議室(紅雲台隣り)
- 議題** 活動報告・活動予定 決算報告 予算(案)
会則改正(案) 事務局時間給改定(案)
その他
※ご出席の方は、総会の1週間前までに同封はがき・QRコード・電話・FAX・メールでお知らせください。



新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して開催しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

武蔵野キャンパス見学ツアー

明年創立100周年を迎えます！新しかった第一体育館、人工芝の松芝園グラウンド等々をご案内する予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 開催日** 令和5年11月25日(土)
- 集合時間** 13時
- 集合場所** 紅雲台
- 参加費** 無料
- 申込方法** メール、電話、FAX
- 申込締切** 11月2日(木)

高女21回生	高女21回生	高女21回生	高女20回生	高女19回生	高女18回生	高女18回生	高女18回生	高女18回生	高女17回生	高女16回生	高女16回生	高女16回生	高女13回生	高女13回生	高女2回生	元中高校長	元数学科教諭	前武蔵野大学長
原田 伶子(草野)	中野 紀子(岡田)	荒畑三四子(野村)	八巻サト子	田中知恵子(高柳)	樋口 貞子(樋口)	早瀬千枝子(伊藤)	中村 光子(田中)	三枝 久子	木南 佳子(松本)	黒須 清子	坂本 全代	岡部喜久枝	本田 良子(岡崎)	石崎ハツエ	望月 伸造	寺崎 修	望月 伸造	寺崎 修
令和5年1月	令和4年2月27日	令和3年12月	令和4年10月29日	令和4年10月2日	令和5年1月2日	令和4年3月13日	令和3年11月8日	平成29年7月29日	令和3年10月9日	令和4年10月2日	令和4年6月8日	令和4年5月10日	令和4年2月22日	平成17年4月26日	令和3年7月16日	令和4年12月3日	令和3年7月16日	令和4年12月3日
高校13回生	高校13回生	高校10回生	高校10回生	高校9回生	高校8回生	高校7回生	高校6回生	高校6回生	高校6回生	高校5回生	高校5回生	高校5回生	高校4回生	高校4回生	高校4回生	高校3回生	高校4回生	高校3回生
浅井 紀子(泉谷)	青木 千晴	加藤友紀子(加藤)	中田美紀子(伊藤)	大森 紀子	森下 文代(森下)	片山瑠璃子(山本)	吉田登茂子	蜂巣賀昌子(宮崎)	天和 輝子(長)	上田 利子	花井とく子(井口)	森田 静子(後久)	本村美美子	鶴田 寿子(金山)	川合 愛子(市川)	徳田佐知子(川合)	佐野 和代	徳田佐知子(川合)
令和4年2月16日	令和3年4月21日	令和4年4月8日	令和4年9月4日	令和4年6月11日	令和5年1月8日	令和4年4月26日	令和4年4月26日	令和3年10月	令和5年1月26日	令和2年12月31日	令和2年11月21日	令和4年9月22日	令和3年12月16日	令和3年8月	令和2年1月	令和4年11月4日	令和2年1月	令和4年11月4日
高校52回生	高校49回生	高校32回生	高校30回生	高校30回生	高校24回生	高校20回生	高校18回生	高校18回生	高校18回生	高校18回生	高校18回生	高校17回生	高校16回生	高校16回生	高校16回生	高校14回生	高校15回生	高校14回生
市村 七瀬	三上 知美	内田 瑞穂	大平みゆき	古市 仁美(石井)	村松由喜江	柴田万里子(吉田)	三枝みどり(川久保)	中村 典子(池田)	増田 道子(石村)	榊山 文代	青井 裕美(赤沢)	市川 和子(中村)	根本 美恵	西田 広子(小林)	安田美智子(補田)	河野 仁子	藤井 光枝(天野)	河野 仁子
令和3年1月	平成28年	令和3年5月8日	令和4年4月1日	令和3年11月24日	平成27年	令和4年1月	令和4年3月31日	令和4年1月15日	令和3年7月9日	令和2年4月5日	平成11年	令和3年6月1日	平成30年8月	令和4年4月14日	令和3年10月23日	令和4年8月20日	平成18年	令和4年8月20日

訃報 (敬称略・回生順)

謹んで哀悼の意を表します

※高女=高等女学校

令和3年度 決算報告

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

収入の部

単位:円

項目	予算額	決算額	差引額	備考
前年度繰越金	2,130,738	2,130,738	0	
入会金	2,820,000	2,820,000	0	15,000円×72回生188人
維持会費	1,700,000	1,771,600	71,600	1,000円×1,762人 1,200円×8名
払込手数料	340,000	336,200	▲3,800	200円×1,681人
寄付(くれない会)	0	618,200	618,200	くれない会運営のためのご寄付
寄付(建墓)	0	204,000	204,000	永代供養墓建立に伴うご寄付
本・送料	0	27,000	27,000	「あの日をわすれないために」他
雑収入	0	0	0	
銀行利息	20	34	14	普通預金利息
合計	6,990,758	7,907,772	917,014	

支出の部

単位:円

項目	予算額	決算額	差引額	備考
基金積立	300,000	300,000	0	
基金積立(建墓)	0	204,000	▲204,000	永代供養墓建立に伴うご寄付
会報「くれない」費	2,450,000	2,411,808	38,192	本誌印刷・伝票印刷・封入・発送代
新卒関係費	250,000	242,656	7,344	くれない会入会記念品(急珠袋)
総会費	20,000	0	20,000	コロナにより中止
近畿支部会費	150,000	0	150,000	コロナにより中止
散華乙女追悼会費	50,000	25,510	24,490	追悼会花代・往復はがき代
教養講座費	0	0	0	コロナにより中止
人件費	1,000,000	748,000	252,000	本部
交通費	350,000	250,320	99,680	本部
払込手数料	340,000	302,733	37,267	ゆうちょ銀行・コンビニ他
会議費	70,000	51,339	18,661	委員会書面審議送料
通信費	80,000	60,083	19,917	電話・はがき・切手
渉外費	50,000	39,487	10,513	中元・歳暮他
事務消耗品費	50,000	27,117	22,883	事務用品・タックシール・コピー用紙他
本送料	10,000	9,250	750	「あの日をわすれないために」送料
慶弔費	30,000	20,504	9,496	購谷俊昭先生ご逝去に伴う弔電、供花料
雑費	20,000	10,217	9,783	お茶・ゴミ袋他
予備費	150,000	12,460	137,540	掃除機
小計	5,370,000	4,715,484	654,516	
次期繰越金	1,620,758	3,192,288		
合計	6,990,758	7,907,772		

次期繰越金

(総収入) 7,907,772円 - (総支出) 4,715,484円 = 3,192,288円

次期繰越金内訳

(三菱UFJ銀行普通預金) 2,489,932円 + (ゆうちょ銀行) 699,963円 + (現金) 2,393円 = 3,192,288円

令和4年度 予算

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

収入の部

単位:円

項目	令和3年度決算額	予算額	備考
前年度繰越金	2,130,738	3,192,288	
入会金	2,820,000	3,240,000	15,000円×73回生216人
維持会費	1,771,600	1,700,000	1,000円×1,700人
払込手数料	336,200	340,000	200円×1,700人
寄付(くれない会)	618,200	0	くれない会運営のためのご寄付
寄付(建墓)	204,000	0	永代供養墓建立に伴うご寄付
本・送料	27,000	0	「あの日をわすれないために」他
雑収入	0	0	タックシール作成代
銀行利息	34	30	普通預金利息
合計	7,907,772	8,472,318	

支出の部

単位:円

項目	令和3年度決算額	予算額	備考
基金積立	300,000	500,000	コロナにより繰越金が増えたため
基金積立(建墓)	204,000	0	永代供養墓建立に伴うご寄付
会報「くれない」費	2,411,808	2,800,000	本誌印刷・伝票印刷・封入・発送代
新卒関係費	242,656	500,000	くれない会入会記念品(急珠袋) 1,100円×431人
総会費	0	50,000	コロナ対策他
近畿支部会費	0	150,000	近畿支部会出張費・近畿支部運営補助費
散華乙女追悼会費	25,510	50,000	追悼会花代・追悼写真関係費・往復はがき代
教養講座費	0	0	コロナにより中止
人件費	748,000	1,000,000	本部
交通費	250,320	350,000	本部
払込手数料	302,733	340,000	ゆうちょ銀行・コンビニ他
会議費	51,339	70,000	委員会、むらさき会合、コロナ対策
通信費	60,083	80,000	電話・はがき・切手
渉外費	39,487	50,000	中元・歳暮他
事務消耗品費	27,117	50,000	事務用品・タックシール・コピー用紙他
本送料	9,250	10,000	「あの日をわすれないために」送料
慶弔費	20,504	30,000	
雑費	10,217	20,000	お茶・ゴミ袋他
予備費	12,460	200,000	
小計	4,715,484	6,250,000	
次期繰越金	3,192,288	2,222,318	
合計	7,907,772	8,472,318	

令和3年度会計監査報告書

令和4年4月25日

武蔵野大学中学校・高等学校
同窓会くれない会
会長 阿部美枝子殿

武蔵野大学中学校・高等学校
同窓会くれない会
会計監査 高橋 洋子
高田 悦子

下記の報告書を監査した結果、適正かつ正確であることを報告いたします。

記

- 令和3年度決算報告書、収支表、関係書類
- 令和3年度くれない会基金決算報告書、関係書類

以上

令和3年度 くれない会基金決算報告

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

収入の部

単位:円

項目	決算額
前年度繰越金	49,433,375
基金積立	300,000
基金積立(建墓)	204,000
受取利息	2,151
合計	49,939,526

次年度繰越金 49,939,526円

会報バックナンバー

(Vol.35 ~ Vol.43)

校友サポートサイト「くれない会」のページに掲載しています。QRコードからご覧いただけます。



- ### 令和4年度 活動予定
- 1 会報「くれない」第43号 4月25日付
 - 2 委員会 5月 書面審議
 - 3 総会 6月4日(土) 中止
 - 4 近畿支部会 中止
 - 5 樹華祭(バザー) 不参加
 - 6 日帰りバス旅行 中止
 - 7 散華乙女追悼会 12月2日(金)
 - 8 高校74回卒業生くれない会入会式 2月28日(火)
 - 9 くれない会教養講座 中止
 - 10 むらさき会との会合 6月13日(月)
 - 11 母校行事に出席
- ### 令和5年度 活動予定
- 1 会報「くれない」第44号 4月25日付
 - 2 委員会 5月20日(土)
 - 3 総会 6月3日(土)
 - 4 近畿支部会 未定
 - 5 樹華祭(バザー) 未定
 - 6 武蔵野キャンパス見学 11月25日(土)
 - 7 散華乙女追悼会 12月1日(金)
 - 8 高校75回卒業生くれない会入会式 未定
 - 9 くれない会教養講座 中止
 - 10 むらさき会との会合 未定
 - 11 母校行事に出席
- 中学・高校入學式、同慶節、雪頂忌、彼岸会、報恩講
中学修了式、高校卒業式

くれない会活動・永代供養墓建立 御寄付のお礼とご報告

平素よりくれない会にご理解とご支援を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。この度は、令和4年3月から令和5年2月までの間にくれない会活動と永代供養墓建立にご寄付をいただきました方々のお名前を感謝の意を込めて掲載させていただきました。

今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年3月

くれない会活動の御寄付

令和4年3月～令和5年2月 合計79件 456,000円

J22	小嶋好子	H10	畑沢初江	H17	岩崎睦子	H30	市川恭子	H54	今枝里奈
H3	田中美津子	H11	上野祥子	H17	篠宮さく江	H30	関根仁美	H55	増田美和
H3	合田敏子	H11	青山悦子	H18	有馬眞貴子	H31	井内美紀	H55	伊賀川香央里
H4	鈴木京子	H11	梁瀬光子	H18	石原加代子	H31	跡部華子	H63	磯部みずほ
H4	滝嶋照子	H11	小嶋克江	H19	亀澤佳子	H32	森素子	H63	柴宮真優
H5	斎藤昌子	H12	金子百合子	H20	山田千恵子	H35	中村幸子	H68	仲田祐花
H6	佐藤幸子	H12	鈴木みのり	H20	吉野澄子	H35	田中富美子	H71	栗原和香子
H6	鷹谷聡子	H12	小澤功子	H21	橋本康子	H35	佐藤礼子	H71	栗原和歌子
H7	藤咲順子	H12	寺西慶子	H22	西田恵子	H35	坂尾弥生	H72	萩尾美夜
H8	森歌子	H13	河村映子	H24	朝倉文子	H36	成田加奈子		(株)米内家
H8	河本ツル子	H14	渡辺恵子	H24	外園直子	H36	矢野誠子		匿名1名
H8	内田英子	H15	桃井聡子	H24	秋山恵子	H37	佐藤久美		
H8	石川京子	H15	峯岸順子	H25	林のり子	H42	高橋加奈子		
H9	小林皆子	H16	千葉靖子	H25	酒井直美	H42	山本京子		
H9	渡辺礼子	H16	高橋豊子	H27	茶木雅子	H43	小田部典子		
H9	最勝寺宇多恵	H16	高橋洋子	H27	小峰真理子	H43	山本悦子		
H10	船木俊子	H16	柿本博子	H27	関裕子	H51	花岡千佳		

永代供養墓建立の御寄付

令和4年3月～令和5年2月 合計44件 271,000円

J18	水野久美子	H12	楨野英子	H20	山田千恵子	H30	関根仁美	H49	黒田香織
J22	小嶋好子	H13	横関明生	H21	釜坂美和子	H30	藤井正子	H63	柴宮真優
J22	徳下てい子	H14	渡辺恵子	H24	朝倉文子	H31	井内美紀	H71	栗原和香子
H7	斉藤美代子	H15	桃井聡子	H24	秋山恵子	H31	跡部華子	H72	萩尾美夜
H7	藤咲順子	H15	峯岸順子	H27	河崎久美子	H35	青木輝美		匿名4名
H7	野口綾子	H16	伊藤美千枝	H27	植松万理子	H35	重田由美子		回生順 敬称略
H8	渡辺登美子	H16	高橋洋子	H29	都築万里子	H35	佐藤礼子		J 高等学校
H10	千輪久子	H18	横山裕子	H30	長島里代	H40	海老原奈津子		H 高等学校
H10	渡辺記代	H19	亀澤佳子	H30	市川恭子	H45	佐藤典子		

個人情報取扱い について

くれない会では、個人情報及び個人に関連する情報の第三者への提供はご本人の同意を得てから行います。同窓会、クラス会等の幹事・責任者の方へ名簿を送送する場合は、厳重且つ慎重に対応しております。

個人情報の変更 近況報告

同封のハガキ・メール・FAX・下記のQRコードにてご連絡ください。近況報告をお待ちしております。会報に掲載する場合もあります。



バザー用品 ご寄付のお願い

樹華祭への参加は未定ですが、バザー用品のご寄付をお願いいたします。衣類(新品)・雑貨・食器手芸品等々。古いものや汚れたものなどは廃棄に費用がかかってしまいます。ご理解とご協力をお願いいたします。

『ハルジオンの咲く野』

高山榮香作 うすいしゅん絵
(銀の鈴社 2022年11月発行)



会報41号「同窓生訪問」の高校4回生高山智栄子さん(ペンネーム高山榮香)より寄贈されました。豊かな自然、尊い命、人の優しさに心温まる短編集です!

武蔵野大学中学校・高等学校 同窓会くれない会

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

TEL・FAX: 042-468-3161

E-mail: kurenai@musashino-u.ac.jp

開室: 月・木曜日
午後1時~4時

同窓会くれない会 検索

ホームページは
同窓会くれない会で検索



Twitter: 準備中



維持会費納入のお願い

平素はくれない会にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年度も引続き、維持会費 1,000 円、払込手数料 200 円、合計 1,200 円の納入をお願い申し上げます。

	コンビニ	ゆうちょ銀行	ダイレクト(ネットバンキング)	くれない会
維持会費用	1,200 円 払込期限 8月31日	1,200 円 通年	1,000 円 ゆうちょダイレクト、三菱UFJ ダイレクトからの振込料は無料 通年	1,000 円 通年
ご寄付・本専用	使用できません	通年	使用できません	通年

ゆうちょ銀行では現金での払込みにゆうちょ銀行の手数料として 110 円が別途かかりますのでご注意ください。コンビニは 110 円の手数料はかかりません。

- **ダイレクト** ・ゆうちょダイレクト 口座記号番号 00150 65957 口座名 同窓会くれない会
メッセージ欄に会員番号と回生を入力してください
- ・三菱 UFJ ダイレクト 武蔵境支店 (464) 口座番号 (普) 0419266
口座名 武蔵野大学中学校・高等学校同窓会くれない会
名前の前に会員番号を入力してください

■ **通年** 2023 年 4 月～ 2024 年 3 月 31 日まで使用できます

永代供養墓のお申込みと建墓御寄付のお願い



永代供養墓

- **永代供養墓のお申込み**
永代供養墓（杉並区和田堀廟所）の使用をご希望される方は別途申込みが必要です。くれない会までお問合せください。埋葬料は 8 万円。和田堀廟所の埋葬料が改定された場合は、その改定後の金額が埋葬料となります。
- **くれない会建墓の御寄付**
ご支援ご協力をお願い申し上げます。
 - ・寄付金額 一口 2,000 円
 - ・払込みは寄付・本専用の用紙をお使いください

「あの日をわすれないために」



購入方法

寄付・本専用の用紙に冊数、送料（2冊まで 500 円）をご記入の上お申し込みください。くれない会でも販売しております。

響き合って、未来へ。



学校法人 武蔵野大学 創立 100 周年記念募金

本法人は 2024 年（令和 6 年）に創立 100 周年を迎えます。
本法人が設置する各学校の教育研究環境の一層の充実のため、創立 100 周年記念募金への格別のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<募金概要>

募金名称	学校法人武蔵野大学 創立 100 周年記念募金	申込方法	同封の払込取扱票に必要事項をご記入のうえ、郵便局窓口または ATM にてお手続きください。 インターネットバンキングやクレジットカードでのお手続きをご希望の方は、創立 100 周年記念募金 WEB ページ (https://100th.musashino-u.ac.jp/bokin/) にアクセスいただき、「申込方法>個人の場合」よりお申し込みください。
期 間	2022 年 7 月～ 2030 年 3 月 (8 年間)		
目 標 額	20 億円		
受付金額	【個人】一口 1 万円以上 【法人】金額の指定はございません。 ※一口未満でも喜んでお受けいたします。	お問い合わせ	趣意書の郵送を希望する方や、その他ご不明点については経理課までご連絡ください。 学校法人武蔵野大学 財務部経理課 TEL: 03-5530-7384 Mail: keiri@musashino-u.ac.jp
対象事業	以下①～④より寄付を行う事業をお選びください。 ①武蔵野キャンパス図書館の建替え ②千代田キャンパス施設の建替え ③創立 100 周年記念基金 ④創立 100 周年記念事業プロジェクト【Project 10】		
芳名録への掲載について	ご寄付を賜りました方のご芳名は、ご寄付の翌年に右記の創立 100 周年記念募金 WEB ページに掲載させていただきます。2022 年 12 月までにご寄付を賜りました方のご芳名は、2023 年 4 月（予定）に掲載予定です。		